

第5回受賞 平成27年(2015年)

受賞テーマ

「急性前骨髄球性白血病治療薬タミバロテンの開発研究」

＜所属・職位は受賞当時＞

- ＜代表者＞ 首藤 紘一（一般財団法人日本医薬情報センター 会長）
大野 竜三（愛知県立がんセンター 名誉会長）
影近 弘之（東京医科歯科大学学生体材料工学研究所 教授）
小林 洋一（東光薬品工業株式会社 代表取締役社長）
橋本 祐一（東京大学分子細胞生物学研究所 教授）



第5回受賞研究テーマ『急性前骨髄球性白血病治療薬タミバロテンの開発研究』に関する研究成果は、かつては最も治療が難しかったこの白血病に対して、がん細胞を正常細胞へと分化を誘導して成熟させるという作用機序にて、優れた臨床効果を示す治療薬の開発に至ったこと、そして、この白血病が治療成績の良いがんになったことです。

首藤教授はじめ共同研究者は、ビタミンAの活性体であるレチノイン酸の不安定性を解決するために化合物構造を大幅に変化させ、安定で高活性かつ受容体選択性の高いタミバロテンを合成し、優れた白血病治療薬創成へつなげたのです。

タミバロテンは現在、すい臓がんやほかの白血病、希少がんでも臨床研究が進んでいます。
(首藤先生は2020年7月にご逝去されました)